

平成23年度科学・技術関係予算についての意見募集結果  
(24120：再生医療の実現化プロジェクト)

ご意見の概要	件数
このまま推進すべき	3件
改善・見直しをした上で推進すべき	3件
推進すべきではない	0件
その他	0件
合計	6件

【主なご意見】

再生医療の実現化に囚われることなく、自己増殖・分化の方向付けのエピジェネティック制御機構の解明などの基礎研究を一層強化すべきである。このためには分析測定機器開発などで経産省との連携も不可欠である。

方向性としてはさらに基礎研究に徹したほうがよいと考えるが、その内容の見直しが必要ではないか。たとえば iPS 細胞の標準化が可能かどうか、ゲノム解析も含めた研究を展開してはどうか。

各省庁連合のハイウェイ構想は評価に値する。文科省が臨床研究に早期に移行する課題としては、体性幹細胞研究を、その後に移行するものとして iPS, ES 細胞研究を掲げており、妥当と考える。しかし採択されている体性幹細胞研究が少なすぎると思われる。iPS プロジェクトは拠点整備事業に集中させ、その他のプロジェクトは体性幹細胞中心でよいのではないか。将来構想に見合った支援であってほしい。